

学術の社会的発信を考える

研究成果の社会的発信のプロセスや課題、これから成果を社会に発信したいと考えている人が知っておくべきこと等を、これまで研究成果の編集に携わってこられた方々にお伝え頂き、これからの研究成果発信のあり方について、ディスカッションします。
自分の研究成果を社会に発信したいと考えている人、編集の仕事に関心のある人、本作りに挑戦してみたい人、文理を問わず歓迎します。

日時：2015年9月24日（木）

第1部（講演） 11：10-12：10

第2部（ディスカッション） 12：20-12：50（飲食可）

場所：第一部 東京大学駒場1キャンパス18号館4階コラボレーションルーム3
第二部 同上 オープンスペース

お申し込み（当日参加も可）：<http://goo.gl/forms/P3Yf7f89t2>

登壇者：

SYNODOS 代表取締役 芹沢一也（せりざわかずや）

東京大学出版会 編集局長 小松美加（こまつみか）

東京大学出版会 編集局 住田朋久（すみだともひさ）

登壇者略歴

芹沢一也：慶應義塾大学大学院博士課程単位取得退学。株式会社シノドス代表。慶應義塾大学非常勤講師。専門は近代日本思想史、現代社会論。著書に『〈法〉から解放される権力』（新曜社）、『暴走するセキュリティ』（洋泉社新書）など。

小松美加：千葉大学薬学部卒業。大学出版部協会編集部会副部会長。『日本の地形』（全7巻）、『新版 日本の活断層』、『日本被害地震総覧599-2012』などを担当。

住田朋久：東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得退学（科学史・科学哲学）。『顧みられない熱帯病』、『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』などを担当。

主催：東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)」
お問い合わせ：渡部麻衣子（特任講師） wtnabmk@ihs.c.u-tokyo.ac.jp